



©19-004



謹賀新年

明けましておめでとうございます

令和6年 元旦

代表 田原博雅

京田辺市観光ボランティアガイド協会が発足して20年弱になります。昨年度は新人ガイド9期生の募集により10名が入会、ガイド数は40名近くになりました。今回入られた9期生は非常にレベルが高く、我々にとって強い戦力で、実際すでにガイドができる体制になっております。また、昨年からの毎月定例会でプチ講演会を開催しており、ガイドのレベル向上につなげてきました。

さて、昨年放映されたNHK大河ドラマ「どうする家康」では、「伊賀越え」の場面が取り上げられ、当会では、甘南備山を通った説に基づいたイベントを開催しました。また、情報誌「JRふれあいハイキング」に加え、京田辺市産業振興課のご尽力により「きんてつハイキング」誌にも掲載が拡大され、企画したハイキングに多くの方々が多方面より参加されました。

その他、新しい試みとして、京田辺だけではなく近隣市町村の井手町・精華町を訪れる企画もいたしました。今年度はさらに八幡市・木津川市・城陽市を訪れる企画や、「南山城三十三観音巡り」に指定される市内の7ヶ寺の観音様を巡るツアーも行いたいとかんがえています。

当協会のホームページは、外部団体より高い評価をもらっており、更なるレベルアップを行いながら、SNSの発信等を行い、新しい、魅力ある企画を多く発信してまいりたいと思います。



管外研修報告

京田辺ゆかりの地を京都に訪ねる

2023年9月7日(木) ボランティアガイド協会の会員23名の参加で開催しました。

まず京都大徳寺塔頭の「真珠庵」を訪れました。「真珠庵」は京田辺市の「酬恩庵・一休寺」で有名な「一休宗純」を開祖とし、その遺志を継いだ高弟達により延徳3年(1491)に創建されました。真珠庵は荒れ寺で方丈の入口は障子も無く、破れた窓から雪が入り、その雪が「真珠」のように美しく見えることから「真珠庵」と名がついたとの事です。全員「なるほど」と納得です。

方丈室中襖絵 曾我蛇足筆の「四季花鳥図」や長谷川等伯筆の「商山四皓図」等々の水墨画は日本最古の作品で全員が熱い眼差しで観

ていました。また、襖絵は空間や場に合わせて描かれており、「書」と同様に「真・行・草」の3つの体があることも教わりました。墨の濃淡・筆のタッチ等興味深く観ることができました。その後、方丈東庭で、茶祖村田珠光作「七五三庭園」を見ました。



これは、七五三の石組で15個の石を七つ、五つ、三つに分けて配置するもので「15」は特にめでたい数字とされているそうです。

また、年に1回の一休禅師の法要には、大徳寺全塔頭(24カ所)の和尚様が真珠庵に集い、経を唱えられるという話を聞き大変感激しました。真珠庵自家製の納豆を試食しましたが、一休納豆とは形や味が異なっていました。方丈と庭園の形態や納豆造り等、真珠庵は一休寺と非常に似ているとの全員の感想でした。



真珠庵を後に、船岡山の頂上に登り真珠庵の感想を語りながらの昼食となりました。食後、京田辺市の甘南備山探しが始まりました。平安京の朱雀大路は、甘南備山と船岡山を結ぶ線上に決められたと伝えられています。甘南備山はなかなか見つからず悪戦苦闘しましたが、ようやくほとんどの方が甘南備山を認識できほっとした瞬間でした。

ここで一端解散となり、希望者のみ寺之内界隈の茶道千家や日蓮宗総本山の寺院を見て本日の研修会を終りました。普段拝観できない真珠庵や船岡山等を通して、一層京田辺との「ゆかり」を感じ、会員間の親睦を図れた有意義な一日でした。

(藤田)



ガイド日誌

蟹満寺国宝釈迦如来坐像と井堤寺跡を訪ねて

爽やかな朝、約12キロのハイキングを行いました！

木津川市の高倉神社では、境内の白馬について学びました。

蟹満寺では、本尊・国宝釈迦如来金銅仏を間近で参拝し、その存在感に圧倒されました！



その後、山背古道の痕跡を辿って井手町に入り、新庁舎に併設されたカフェで昼食を摂りました。



広場では「栢木遺跡第13次調査」で見つかった「五重塔基壇」の説明があり、保存基壇跡（写真右）と全体像を確認できる白く塗装された広場を確認しました。

その後、地蔵禅院から生駒山系を遠望し、蛙塚案内を終えて寿宝寺に行きました。そこでは、翌日の「百味と湯立て」という伝統行事の準備が行われていました。

歩くのが目的で参加している人も多く、ゆっくり歩いてガイドしてもらって嬉しい、というお声をいただきました！（桑田）
またのお越しをお待ちしております！

家康伊賀越えの道 歴史ウォーキングツアー

お茶の京都 DMO 主催の「家康伊賀越えの道 歴史ウォーキングツアー」。その一部である京田辺市内をガイドさせていただきました。

遠くから来られている方も多く、みなさま「伊賀越え」の説明に大変興味をもって聞いていただきました。



ガイドの私たちも、みなさまの楽しそうな様子にとっても嬉しくなりました。

11月11日（土）にも同じ企画があり、ガイドさせていただきました。
（田原）



大昔の京田辺ってどんなところだったの？

京田辺市は3・4世紀の遺跡・古墳などが存在することで明らかのように大昔から人々が生活をしていたところです。京田辺市外から多数参加していただいたみなさんも意外な歴史に興味深そうでした！

JR三山木から紅葉の始まった木々を見ながら山崎神社そして同志社大学キャンパス内の同大学の考古学の先生方がたが発掘された天神山遺跡・下司古墳群・マムシ谷窯址を見学し、最後に歴史資料館を訪れました。



歴史資料館では若林先生にテーマごとに陳列された石器・石鏃・須恵器・埴輪・鉄器などの説明を受けました。このレクチャーは特に大好評でした！



ガイド終了後、大学の食堂に向かわれた方も多数おられました。参加いただいたみなさんには楽しく過ごしていただいた様子で何よりでした！（熊澤）

紙面の関係上、これ以上はご紹介できませんが、京田辺市観光ボランティアガイド協会では、月2回のハイキングの企画に加え、お客様のご要望に応じてカスタマイズする「お好みツアー」もあります。

詳しくは、下記ホームページにアクセスし、実施内容のブログや、これから予定しているツアーなどをご覧ください。

<https://kyotanabe-guide.com>





今後の行事の見どころ案内

南山城の至宝十一面観音像を訪ねて ～京田辺の国宝・重文・府指定の観音様を巡る～

2024年2月10日（土）催行する「南山城の至宝十一面観音像を訪ねて」のご紹介をいたします。

南山城三十三所巡礼は西国三十三所になって江戸時代に庶民の巡礼として盛んになりました。南山城三十三所巡礼は、相楽郡綺田の東光寺に住む如範により定められ大変賑わったそうです。

京田辺市内には、十八番・宮ノ口観音堂、十九番・江津宮恵日寺、二十番・出垣内念仏寺、二十一番・普賢寺大御堂観音寺、二十二番・興戸観音寺、二十三番・北谷日光寺、二十四番・飯岡蓮華寺の七寺が在りました。

明治始めの廃仏毀釈の時、寺院が打ち壊されたりしましたが、近くの別のお寺に観音像は運ばれ、難を逃れた観音さまも現存します。



現在拝観出来無いお寺もありますが、今回は国宝・重要文化財・京都府指定文化財の、三体の観音様を訪ねます。

- 第十九番・江津宮 恵日寺 寿宝寺 十一面千手千眼観音立像（重要文化財）
- 第十八番・宮ノ口 観音堂 法雲寺 十一面観音立像（京都府指定文化財）
- 第二十一番・普賢寺 大御堂 観音寺



十一面観音立像（国宝）
何れの観音様も優しく暖かく時には厳しく迎えて下さいます。

※雨天決行です。（当日午前7時に開催地にて気象警報が発表されている場合は中止します。）（北野）

～隼人舞の月読神社から法華寺へ～ 隼人の里 法華寺で写経体験

2024年2月17日（土）、隼人舞（毎年10月）の行われる月読神社と天津神社を巡り、その後法華寺で写経を行います。途中、大住車塚古墳にも立ち寄ります。

写経は紙と筆さえあればいつでもできる

「書く瞑想」だとか。

墨の香り漂う空気の中で、背筋を伸ばしてゆったり深呼吸。一字一字書き進める。そのうち気がつけば穏やかな気分。

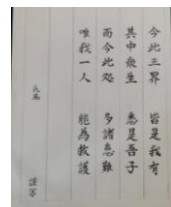
無心になることで集中力や忍耐力がつき、免疫力も上がり、脳が活性化し、認知症の予防の効果や改善も見られるとか言われます。

おまけに、字も上達し、姿勢も良くなり、心の余裕が生まれます。

AIとかITとかデジタル全盛の昨今、急テンポで過ぎていく日々。写経は何とも非効率なアナログ作業です。

でもたまにはこんな癒しの時間を持ってみませんか。

※雨天決行です。（当日午前7時に開催地にて気象警報が発表されている場合は中止します。）（澤江）



霊地 虚空蔵谷と歴史を語る仏様 両讃寺に集う仏像の謎

2024年3月2日（土）、霊地として自然信仰の対象とされていた虚空蔵谷は雨ごい祈願の地として霊験あらたかだったといわれています。竜王谷から湧き出た尽きることない清水は清らかな虚空蔵谷川となって月読神社を経て大嘗料を流れていました。



霊地虚空蔵谷から流れる虚空蔵谷川を横に見て、朝廷に献上する作物を作っていたと言われる大嘗会田伝承地、歴史を語る仏様の集う両讃寺を巡ります。また、両讃寺ではご住職から興味深いお話を伺います。

※雨天決行です。（当日午前7時に開催地にて気象警報が発表されている場合は中止します。）（熊澤）

※上記の他、次のツアーを企画しております。是非、ご参加ください。

- 1月20日（土）茶香服体験と飯岡の茶畑・古墳群ウォーク
- 1月27日（土）京田辺のお酒の神様を巡る
- 3月23日（土）一筆書きで甘南備山

広報誌『つつきの』発刊から15年を経て

平成21（2009）年10月1日に創刊しました広報誌『つつきの』（以下、本誌）は、年2回のペースで発行を続けさせていただき、なんと15年を迎え、第29号を発刊させることができました。

これは、偏に愛読していただいた皆様方の温かいご支援の賜物と心より御礼申し上げます。

本誌の創刊目的は、①京田辺市内のあまり知られていない名所旧跡や神社仏閣の紹介、②ガイド仲間の知識向上でした。①については、ガイド全員による名所旧跡や神社仏閣への取材報告書を基に、本誌の記事としました。②のガイド仲間の知識向上は、同じくガイド全員の取材報告書を取りまとめ、ガイド必携のサブ指南書（メイン指南書の一休寺、澤井家住宅、観音寺を除く指南書をサブ指南書と言います）を作りました。

これで、先に説明させて頂きました本誌の創刊目的①と②を効率よく同時達成させることができました。

私たちの「京田辺市観光ボランティアガイド協会」は発足時（『つつきの』創刊より2年前の平成19（2007）年4月）、たった8名（実質7名）でスタートしたところから、その団体の恒常性がひどく危ぶまれたので、会発足の翌年に2期生を募集し、続けて2年毎にガイド



観光ガイド指南書目次					
区画別	神楽		その他		
Vol.1	一休寺	Vol. 21	多摩神社	Vol.31	澤井家住宅
2	観音寺	22	大徳寺	32	観音寺
3	澤井家住宅	23	観音寺	33	澤井家住宅
4	多摩神社	24	大徳寺	34	多摩神社
5	大徳寺	25	澤井家住宅	35	大徳寺
6	澤井家住宅(奥庭)	26	多摩神社(文庫)	36	澤井家住宅
7	澤井家住宅	27	大徳寺	37	澤井家住宅
8	澤井家住宅(奥庭)	28	多摩神社	38	澤井家住宅
9	澤井家住宅	29	大徳寺	39	澤井家住宅
10	澤井家住宅(奥庭)	30	多摩神社(奥庭)	40	澤井家住宅
11	一休寺(バードヒル)	31	山蔵神社		
12	沢井家	32	三上神社		
13	山蔵神社	33	自覚神社		
14		34	自覚神社		
15		35	新宮寺		
16		36	天津神社		

の新規募集・育成に努めた結果、会の発足5年目には、現在見られますような一定レベルのスキルを持ち、しかも恒常性のある強力なガイド集団を作り上げることに成功しました。このときの全員参加のパワーの威力を忘れないよう組織化したのが、「自主企画部」で他のボランティアガイド団体にない、優れモノと自負しています。

ところで、近年において京田辺市の広報誌「ほっと京田辺」の誌面が格段と充実し、タイムリーな社寺仏閣旧跡を紹介されるようになったこと、更にIT技術の目を見張る進化によりSNSが若者だけでなく老年迄普及してきました。

ここに至り、本誌の役割は終わったと判断せざるを得ず、**この号以降休刊とさせて頂きます。**

これからは、SNS（ホームページ、ブログ、フェイスブックなど）に組織をあげて全力を注ぎますので、何卒ご指導、ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。なお、HPで1号から29号全てが見られます。長年のご愛読ありがとうございました。



草創期・元代表
小川祐輔

今後は、ホームページ、Facebook、Instagramにて発信を続けていきます。



京田辺市観光ボランティア協会

検索

←QRコードを読み込んでアクセスできます

ホームページアドレス → <https://kyotanabe-guide.com/>



facebook

フェイスブックアドレス

<https://www.facebook.com/kyotanabe.volunteer.guide/>

フォロワーして、いいね！

👍 してね♪



Instagram

フォローしていいね！

インスタグラムアドレス

https://www.instagram.com/guide_kankou_kyotanabe/

👍 してね♪



京田辺市観光案内所
「京たなべ玉露庵」
(スーパー山田屋南側)



ボランティアガイドが観光案内を行っています(基本的に火・木・土・日曜日の10～16時)。自分で淹れる玉露、抹茶の点て方体験も可能(有料)です！

行事のお申込み・お問い合わせは「京田辺市観光案内所」までお願いします

☎ 0774-68-2801 (9:00～17:00) e-mail: guide@kankou-kyotanabe.jp